

議員と気軽に語る会 実施報告書①

開催日時	令和6年5月16日(木) 19時30分~20時45分
開催場所	八千代プラザ
対象集落	赤坂・俵田・中野間・仕出原・下野間
参加者数	19人
出席議員	班長(橋尾哲夫) 司会(門脇教蔵) 記録(橋尾哲夫) (藤本一昭) (門脇保文) (市位裕文) (廣畑幸子) (清水俊博) (笹倉政芳) (藤原清勝) (内橋志郎) (日原茂樹)
意見発表	(藤本一昭) (橋尾哲夫) (門脇保文) (市位裕文)
意見まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の窓口の設置。子育て世代に対する行政のバックアップが無い。 ・住民の提案要望を聞いてくれる団体がない。一言一言に対し返答できる町になること。 ・土日住民に寄り添い意見を聞く。職員の人事配分を考えて。 ・町づくりを一緒に取り組むこと。多可町に住みたくない理由や問題点についてアドバイスができる。 ・集会は土日しか人が集まらない。住民の気持ちになって行政を運営すること。「村づくりは人づくり」であるため否定的な考えも柔軟に物事を考え新しい参加者を増やすこと。 ・子育て世代は情報を多く持っている。活用すべきである。 ・発祥地に拘らず、新しいものに取り組み発展性につなげること。 ・若い人は田舎のシステムに馴染みにくい。 ・頑張っているのに「何処どこの嫁や」と言われるのが嫌だ。やる気がでない。 ・消防団員の妻たちは操法の練習が嫌だと思ふ人が多い。 ・婚活の内容が古い。成功報酬が少ないから発展性が無い。 ・中学校は令和8年4月開校。子どもの数が年間50人前後。問題は小学校の合併のほうか先決ではないか。小中一貫校を考えるべきではないか。10年後20年後を見据えること。 ・医療費が高騰する中、介護保険を抑えること。町は高齢者の健康増進の取り組みの充実を図ること。健康ウォーキングを拡大させること。 ・ガルデン八千代グラウンドの利用が増えている。熱中症対策が不十分。木陰や日陰などを増やし、ベンチ等の充実をはかること。 ・「きっとありがとう」の歌のPR促進を図るべき。敬老の発祥の町で

ある。

・中北条線の道路沿いの山の立木が大きくなり、倒木の危険があり、事故の心配があるので伐採すること。

・限界集落になってきている。村の維持管理に苦勞している。地域の役員は高齢化し、その中で役員を回している。役員の責任が増々重くなり、負担が多くなっている。

・多可町に企業誘致すること。実際自分の子どもが地元には仕事先がないと帰って来いとは言えない。

・各団体の維持存続。役が当たるのが嫌だということで参加しない人が多い。各団体の魅力がなくなっている。老人会の活動としてはグラウンドゴルフは別として、趣味として活動しているようになっている。

・八千代区の道路状況は中区、加美区に比べ新設道路は少なく、道路拡幅工事の進んでいない。妙楽寺からの道路状況はどうか。産坂の道路拡幅は。（県の計画済み）

・子育てするならダントツ多可町で、給食費の無料化、おむつの定期便を。

・地場産業の見直しと過疎対策を。

・農業、林業、播州織

・商工会と連携し中小企業対策

・八千代区は工場建設には無指定

・新中学校において、生徒指導の充実を。（いじめ自殺の無いこと）

・アスパルの健太君のぬいぐるみを販売しては。

・人口減少と高齢化に対しては女性の声を聞く検討会を立ち上げること。

・運転免許証を返納すれば移動手段はなくなる。タクシー券はあるが、デマンドタクシーを取り入れること。

・いきいきサロンを月1回やっているが、鍵の開閉は必要。実際の参加者が行事の初めから終わりまで完結すること。

・議員の責任を果たせ。住民に寄り添っていない。土日に議会を開くこと。住民の声を聞くこと。

令和6年6月13日

多可町議会議長 日原茂樹様

報告者 橋尾哲夫